



ユーアイ帆っと センターだより

第 106 号

2025

2月1日発行

減少する震災経験者

記憶を語り継ぐため「よりそう」神戸の街

復興に力を果たした「ボランティア」の力を能登へ、全国へ..



令和7年1月17日で、阪神淡路大震災の発生から30年を迎えました。阪神淡路大震災で多くのボランティアが駆け付けたことから、1月17日を含む毎年1月15日から1月21日までの期間が「防災とボランティア週間」と定められました。この週間は、災害時におけるボランティア活動及び自主的な防災活動についての認識を深めるとともに、災害への備え等の充実強化を図ることを目的として創設されています。この機会によく特集されている阪神淡路大震災での報道について「もし自分が遭遇したら」という視点でとらえ、災害時におけるボランティア活動、とるべき行動、備えの充実などについて、家庭や地域、職場などで考えましょう。

高砂市防災ネットたかさごより



災害時に備え、非常持出品、備蓄品の準備は大丈夫ですか



備蓄の基本は「水」と「食料」です。最低3日分は確保しておきたいものです。望ましいのは1週間分のストックとされていますが大変です。そこで「ローリングストック」という備蓄の手法が勧められています。普段から日持ちのする飲料水や食料、日用品を多めに買い置きして、賞味期限が近づいたものから日常に使って、その分を補充しておくという手法です。これなら無理なく備えることができそうですね。なにより、普段から防災についてご家族と話し合っておくことが大切です。

New face



受付担当の鎌田優香です。明るく元気に皆さまをお迎えしたいと思います。よろしくお祈りいたします。



鬼は外、福は内～

春を告げる行事の豆まきやヒイラギ飾りといえは節分です。もともと節分は「季節を分ける」の意味があるらしく、今年は124年ぶりの珍事で2月2日となります。恵方は、歳徳神(とすとくじん)がいる方角で、今年は西南西です。各地の神社仏閣では、多数の催しが開催されることでしょう。一足早く春を探しにでかけてみませんか。



休館日のお知らせ

令和7年2月22日(土)

施設の定期メンテナンスにより休館します。駐車場はご利用いただけます。ご迷惑をお掛け致します。



高砂市ユーアイ福祉交流センター

指定管理者 国際ライフパートナー(株)

〒676-0023 高砂市高砂町松波町 440-35

TEL 079-441-8948 FAX 079-441-8910

<http://www.takasago-yu-ai.com>

◆山陽電車 高砂駅から西へ徒歩10分



◆第2神明加古川バイパス 加古川西インターより南へ15分